

## 製品概要

一般社団法人 building SMART Japanで進められている日本国内の建築構造分野での情報交換のための標準フォーマットST-Bridge（以下STB）と、SEIN La CREAのstxtファイル群との相互変換を行います。



## 機能

- ① 対象とするSEIN La CREAのデータは [stxt] とします。※stxtはSEINのテキストデータです。
- ② 変換するST-Bridgeのバージョンは [Ver.2.0.2] とします。
- ③ 対象とする部材は以下の通りです。

部材	断面	内容
柱、間柱	RC柱	形状、配筋
	S柱	柱鉄骨、柱脚製品
	SRC柱	形状、配筋、SRC柱鉄骨形状、柱脚製品
	CFT柱	CFT柱鉄骨形状、柱脚製品
大梁、小梁	RC梁	形状、配筋
	S梁	梁鉄骨
	SRC梁	形状、配筋、梁鉄骨
鉄骨ブレース	Sブレース	水平ブレース、鉛直ブレース
スラブ	RCスラブ	形状
壁	RC壁	形状、配筋
パラペット	RCパラペット	形状、配筋

※ 荷重、免制震は対象外とします。  
※ 基礎、布基礎、杭基礎、基礎柱、デッキプレートスラブ、床組は変換対象外とします。  
※ パラペットは壁（雑壁）としてインポートします（エクスポートでは出力しません）。

- ④ GUIDには対応していません。
- ⑤ 計算データ要素、解析モデル要素は変換対象外とします。

お問い合わせ先 株式会社NTTファシリティーズ

総研本部 建築技術部 構造設計システム担当

TEL : 03-6414-6190 (営業時間 9:00~17:30 ※土日祭日を除く)

e-mail : its@ntt-f.co.jp

〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館 12F

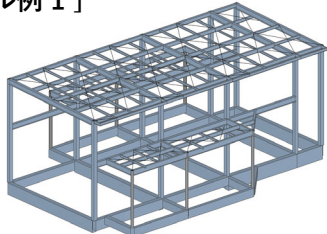
 SEINWEB

<https://www.sein21.jp/>

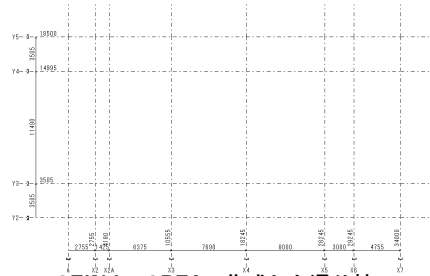
## ST-CNV for STB Ver.1からの改良点

- ① フォーマット書式をST-Bridge Ver2.0.2へ対応致しました。
  - ② ST-Bridge Ver2.0.2への対応により、通り軸の変換が改良されました。
- 下記の図は、SEIN → ST-CNV for STB → Revitのデータ変換例です。

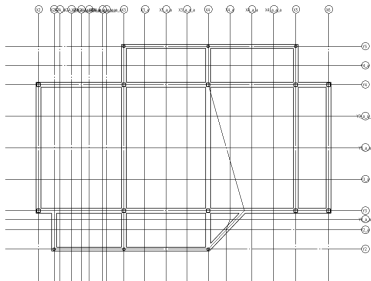
### [モデル例 1]



SEIN La CREAモデル図

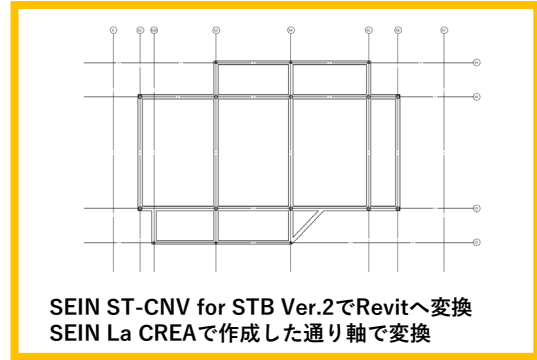


SEIN La CREAで作成した通り軸



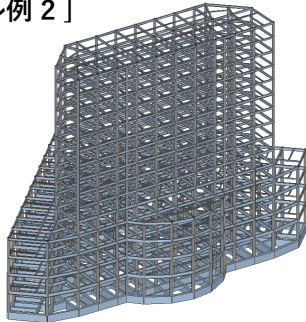
SEIN ST-CNV for STB Ver.1でRevitへ変換  
作成していない通り軸が自動生成される。

Ver.2で変換

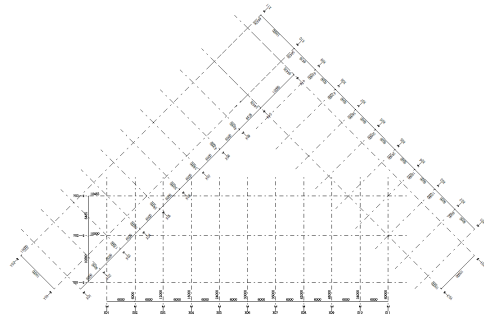


SEIN ST-CNV for STB Ver.2でRevitへ変換  
SEIN La CREAで作成した通り軸で変換

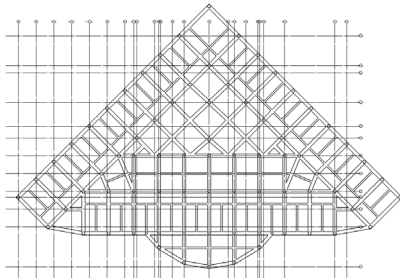
### [モデル例 2]



SEIN La CREAモデル図

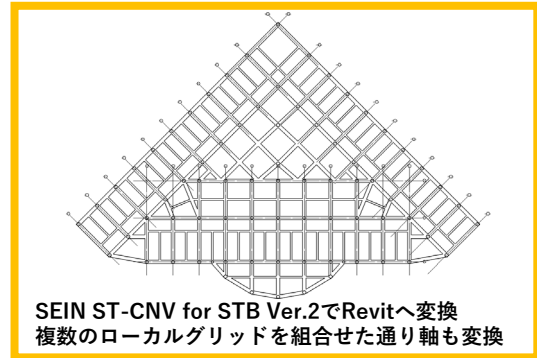


SEIN La CREAで作成した通り軸 (複数のローカルグリッド)



SEIN ST-CNV for STB Ver.1でRevitへ変換  
グリッドに関係なく通り軸が自動生成される。

Ver.2で変換



SEIN ST-CNV for STB Ver.2でRevitへ変換  
複数のローカルグリッドを組合せた通り軸も変換

### 【販売価格】

SEIN ST-CNV for STB Ver. 2	¥110,000 (税込)
Ver.1→Ver.2バージョンアップ	¥ 55,000 (税込)